

令和8年度 年間指導計画（評価計画） 国語 8年

1 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨
① 知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解しようとしたりする態度を育てる。
② 思考・判断・表現	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を育てる。

2 年間指導計画

月	学習事項（指導内容）	時数	観点	評価規準	評価方法
4	見えないだけ	2	① ③	【知・技】語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	・教師の観察 ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	アイスプラネット 漢字に親しもう1	4	① ②	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。 【態】登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査 ・漢字小テスト
	[聞く] 意見を聞き、整理して検討する	1	① ② ③	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 【態】進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査
	文法への扉1 単語をどう分ける？ 文法1 自立語	2	① ③	【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 【態】学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査

5	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	5	① ② ③	<p>【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 <p>フリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。</p> <p>【態】自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・定期考査 ・発表
	枕草子 [書く] 自分流「枕草子」を書こう	3	①	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 <p>【態】文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート
	クマゼミ増加の原因を探る	4	① ② ③	<p>【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ・「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。 <p>【態】積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
6	情報整理のレッスン 思考の視覚化	1	① ③	<p>【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p>【態】積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・単元テスト ・ワークシート ・定期考査

	情報を整理して伝えよう 職業ガイドを作る	5	① ② ③	<p>【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【態】多様な方法で集めた情報を粘り強く整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・単元テスト ・ワークシート ・定期考査
	漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう2	1	① ③	<p>【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査
	短歌に親しむ [書く] 短歌の創作教室 短歌を味わう	5	① ② ③	<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。 <p>【態】表現の効果について進んで考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査 ・発表
	言葉の力	2	① ② ③	<p>【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【態】文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
6	言葉1 類義語・対義語・多義語 語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉	2	① ③	<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【態】今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な語句、抽象的な概念を表す語句などについて理解しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート

7	メディアの特徴を生かして情報を集めよう デジタル市民として生きる	2	①	【知・技】 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査
			②	【思・判・表】「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している【態】	
			③	複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。	
	読書を楽しむ	1	①	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート
		③	【態】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで理解し、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。		
翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう	1	①	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査	
		②	【思・判・表】 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。		
		③	【態】表現の効果について進んで考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。		
書写 (1学期中に8時間程度)	8	①	【知・技】楷書と行書、それに調和する仮名の筆遣いや字形を理解して書いている。	・教師の観察 ・ワークシート ・作品 ・定期考査	
		③	【態】書写の技能を常に意識し、向上心をもって書写活動に取り組んでいる。		

9	ヒューマノイド	4	①	【知・技】話や文章の構成や展開について理解を深めている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
			②	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	
			③	【態】登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。	

9	字のない葉書	3	①	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
			②	【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。	
			③	【態】文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	3	①	【知・技】 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
		②	【思・判・表】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。		
		③	【態】自分の考えが伝わる文章になるように積極的に工夫し、学習課題に沿って手紙や電子メールを書こうとしている。		
	[推敲]表現の効果を考える	1	①	【知・技】 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・作品
			②	【思・判・表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	
			③	【態】進んで文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。	
	言葉2 敬語	1	①	【知・技】敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
			③	【態】今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。	
9	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	2	①	【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート
			②	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	
		③	【態】論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出すインタビューをしようとしている。		
	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	1	①	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・漢字小テスト ・定期考査
			③	【態】積極的に同訓異字や同音異義語を理解し、学習課題に沿って漢字を読んだり書いたりしようとしている。	

10	モアイは語る——地球の未来	5	①	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査 	
			②	【思・判・表】 <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 		
			③	【態】 論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。		
	思考のレッスン1 根拠の吟味	1	①	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。		<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
			③	【態】 今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。		
	適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く	5	①	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・作文 	
		②	【思・判・表】 <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 			
		③	【態】 粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。			
	聴きひたる 月夜の浜辺	1	①	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査 	
		③	【態】 進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。			
	音読を楽しむ 平家物語 「平家物語」の世界／ 「平家物語」の主な登場人物たち	1	①	【知・技】 <ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査 	
		③	【態】 進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、今までの学習を生かして朗読しようとしている。			

11	扇の的 —— 「平家物語」から	4	①	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・ 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の観察 ・ ワークシート ・ ノート ・ 単元テスト ・ 定期考査
			②	<p>【思・判・表】 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。</p>	
			③	<p>【態】 登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>	
	仁和寺にある法師 —— 「徒然草」から 【書く】 人物の特徴を捉えて論じよう	3	①	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・ 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の観察 ・ ワークシート ・ ノート ・ 単元テスト ・ 定期考査
			②	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・ 「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 	
			③	<p>【態】 積極的に知識や経験と結び付けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。</p>	
漢詩の風景	3	①	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・ 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の観察 ・ ワークシート ・ ノート ・ 単元テスト ・ 定期考査 	
			②	<p>【思・判・表】 「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。</p>	
			③	<p>【態】 進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</p>	
君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ	6	①	<p>【知・技】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の観察 ・ ワークシート ・ ノート ・ 単元テスト ・ 定期考査 	
			②	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ・ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 	
			③	<p>【態】 進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。</p>	

12	【話し合い（進行）】 話し合いの流れを整理しよう	1	② ② ③	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 【態】話し合いの流れを整理するときに必要なことを進んで考え、今までの学習を生かして話し合おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査
	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 文法2 用言の活用	2	① ③	【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 【態】今までの学習を生かして、積極的に用言の活用について理解しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査
	立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる 漢字に親しもう4	4 1	① ② ③	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 【態】進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・漢字小テスト ・定期考査
	書写 (2学期中に10時間程度)	10	① ③	【知・技】楷書と行書、それに調和する仮名の筆遣いや字形を理解して書いている。 【態】書写の技能を常に意識し、向上心をもって書写活動に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・作品 ・定期考査
	1 走れメロス 【書く】作品の魅力をもとめ、語り合おう 漢字に親しもう5	9	① ② ③	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【態】登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見通しをもって作品の魅力的文章にまとめようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査 ・漢字小テスト

	文法への扉3 一字違いで大違い 文法3 付属語	3	① ③	<p>【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。</p> <p>【態】今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
2	描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く	5	① ② ③	<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 <p>【態】粘り強く描写を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・作品
	言葉3 話し言葉と書き言葉	2	① ③	<p>【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。</p> <p>【態】今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	漢字3 送り仮名	2	① ③	<p>【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・漢字小テスト ・定期考査
	国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る	4	① ② ③	<p>【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 <p>【態】粘り強く国語を学ぶ意義を考え、今までの学習を生かしてコピーにまとめてクラスで交流しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・作品

3	鍵	2	①	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート
			②	【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	
			③	【態】詩を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。	
	書写 (3学期中に2回程度)	2	①	【知・技】楷書と行書、それに調和する仮名の筆遣いや字形を理解して書いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・作品 ・定期考査
			③	【態】書写の技能を常に意識し、向上心をもって書写活動に取り組んでいる。	